

## 長かった二学期が終了 ありがとうございます

二学期終業式を迎えました。85日間あった二学期、そして入学式から数えると、既に158日間の学校生活を過ごしたこととなります。成長著しい子どもさんですので、この間の育ちは本当に際立っています。1年生は1年生らしく、6年生は6年生として、一人ひとりすべての子どもさんがそれぞれのよさを伸ばすことができた二学期でした。できなかったことができるようになる、苦手だったことを克服する、未経験であったことに一歩を踏み出す。ともに生活をしていると、そんな場面に立ち会えることの幸せを感じさせてもらえます。

熱中症が心配された運動会練習から始まった二学期。遠足や社会見学、6年生の修学旅行と、学校を離れて学んだり経験を重ねたり、身に付けた力を発揮したりする機会も多くなりました。50周年の節目を迎える麻績小学校に在籍することを意識しながら、子どもたちは学校生活を一層充実させることに力を注ぎました。そして今、雪が舞う季節を迎え、長かった二学期、そして令和最初の年が終わろうとしています。



## 終業式校長講話より（抜粋）

二学期の始業式にわたしは、みなさんに「自分のよさの種をまこう」というお話をしました。少しでも心に残っている人がいてくれたら、とても嬉しいです。

さて、皆さんにとって「自分のよさ」を伸ばすことができた二学期になったでしょうか。

二学期の間、休み時間になると中庭では大勢の友だちが一輪車に乗っていました。わたしは、最初の頃、壁につかまったり、レールを頼りにしたりして、ふらふらしたり、ときにはこけてひじやひざやを地面に打って痛い思いをしていた皆さんをよく見ました。でも、少しずつ壁やレールから離れて、一人で乗れる距離が伸びていく、そんな姿もたくさん見ることができました。

一輪車以外にも皆さんが二学期にがんばったこと、「自分のよさの種を育てた」ことはたくさんありますね。目には見えにくくても、少しずつできるようになったり、少しずつわかることが増えたり、苦手だったこと・いやだと感じていたことがちょっぴり楽しく感じられるようになった、とか。みなさんの心の中に、「このことはがんばってできたな」と思い浮かぶことがありますか。

さて、皆さん。この人は誰だか知っていますか。

わたしはしばらく前に、ニュースで知りました。5年後の令和6年に、日本でいま使っているお札が皆新しくなるのだそうです。その、五千円札に顔がのるのがこの方、「津田梅子さん」です。



津田さんは、明治の初め頃に活躍した方です。長かった江戸時代が終わり、日本が世界のことをもっと知らなくてはいけないことによりやく気づいた頃、何と6歳でアメリカに渡って11年間も勉強してきた人です。ヘレンケラーとかナイチンゲールとも親しかったのだそうです。そんなすごい日本人がいたのですね。アメリカでの暮らしが長く続いたので、日本に戻ったら日本語を忘れかけていたのだそうです。日本に戻ってからは、男の人ばかりではなく、女の人も同じように優れた教育が受けられる日本にならなくては、と努力して「津田塾大学」というすばらしい大学を創った方です。悲しいけれど、日本はそれまで、女の人に十分勉強をする機会が与えられない国だったのです。さて、この方の言葉を紹介します。それは、

何かを始めることはやさしいが、それを継続することは難しい。  
成功させることはなお難しい。

「成功させる」というのは、何も大会で優勝するとか、プロの選手になるとか、そんなことでなくてもいいとわたしは思います。でも、途中で弱い自分に負けてやめたりなげだしたりしたら、津田さんがいうようにぜったいに「成功」はできないと思うのです。

だから、どんなことでもいい。目立たないことでもいい。今自分にとって、「このことならがんばれる」と思えるものを、もしも途中でうまくいかなくていやになることがあっても、こつこつと続けることができたらすてきな、と思います。わたしは、「成功」とは、「自分でここまでできた」「自分にもこんなにがんばれた」と思えるようになることだと思うのです。

明日から冬休みです。この休みはお家の方といっしょに新しい年を迎える楽しいお休みです。そこで、自分が「続けること」を決めてみませんか。もう、そういうものをもっているよ、という人はもちろんそれでいいのです。いま自分には見つからないなあ、という人、「新年の決意」として一つ決めてみたらどうでしょうか。

## 皆様よいお年をお迎えください

一年間ありがとうございました。子どもさんの誰もが心も体も健康で、学校に来ることが毎日楽しくて、とってくれることを職員一同願っています。このところは、お腹の調子が悪くなる子が増え、また近隣の学校ではインフルエンザ流向の兆しもあり心配もあります。

この休みは体を休めて二学期の疲れをとったり、ご家族と過ごして心に栄養をためこんだりできるお休みであってほしいと願っています。

ご家族おそろいにてよいお年をお迎えください。